

# 令和2年度 決算に関する説明資料

- 1 各種会計歳入歳出決算総括表 (P1)
  - 2 各種会計歳入決算前年度比較表 (P2)
  - 3 各種会計歳出決算前年度比較表 (P3)
  - 4 一般会計歳入決算前年度比較表 (P4)
  - 5 一般会計歳出決算前年度比較表 (P5)
  - 6 一般会計性質別歳出決算前年度比較表 (P6)
  - 7 市税決算前年度比較表 (P7)
  - 8 都市計画税充当説明資料 (P8)
  - 9 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる  
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 (P9)
  - 10 地方交付税の概要 (P10)
  - 11 各種基金の状況 (P11)
  - 12 令和元年東日本台風に係る災害復旧費等の決算状況 (P12)
  - 13 各種会計地方債の状況 (P13)
  - 14 健全化判断比率及び資金不足比率 (P14)
  - 15 健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等 (P18)
  - 16 普通会計決算状況分析主要指標 (P19)
- (参考) 普通会計決算状況分析主要指標の見方 (P20)



## 令和2年度各種会計歳入歳出決算総括表

(単位:円)

会計区分		予算現額 (A)	決算額			備考	予算現額と決算額との比較	
			歳入(B)	歳出(C)	差引残額(B-C)		歳入(B-A)	歳出(A-C)
一般会計		27,505,949,837	22,368,351,161	21,740,198,600	628,152,561	繰越明許費繰越財源 167,289,500 事故繰越し繰越財源 12,537,982 翌年度繰越額 220,000,000 財政調整基金繰入額 228,325,079	▲5,137,598,676	5,765,751,237
特別会計	国民健康保険事業	3,393,888,000	3,334,621,240	3,313,103,875	21,517,365	翌年度繰越額 10,758,000 国民健康保険事業財政調整基金繰入額 10,759,365	▲59,266,760	80,784,125
	後期高齢者医療	350,506,000	351,383,687	347,583,256	3,800,431	翌年度繰越額 3,800,431	877,687	2,922,744
	介護保険	3,307,374,000	3,184,311,814	3,114,083,811	70,228,003	翌年度繰越額 26,481,000 介護保険事業財政調整基金繰入額 43,747,003	▲123,062,186	193,290,189
	東根財産区	504,000	258,087	258,087	0		▲245,913	245,913
	計	7,052,272,000	6,870,574,828	6,775,029,029	95,545,799		▲181,697,172	277,242,971
合計		34,558,221,837	29,238,925,989	28,515,227,629	723,698,360		▲5,319,295,848	6,042,994,208

区分		収入(A)	支出(B)	差引額(A-B)	備考	
企業	水道事業	収益的 予算現額	1,087,715,000	1,049,959,000	37,756,000	収益的収支(税抜き) 総収益 1,003,175,484 円 総費用 887,767,766 円 収入支出差引 115,407,718 円
		決算額	1,085,658,692	956,232,917	129,425,775	
	資本的	予算現額	44,304,000	295,251,000	▲250,947,000	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 211,351,170円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 14,149,857円、減債積立金 47,594,493円及び過年度分損益勘定留保資金 149,606,820円で補填。
		決算額	33,615,800	244,966,970	▲211,351,170	
会計	下水道事業	収益的 予算現額	990,209,000	988,691,000	1,518,000	収益的収支(税抜き) 総収益 925,533,036 円 総費用 930,664,498 円 収入支出差引 ▲5,131,462 円
		決算額	952,496,927	965,792,718	▲13,295,791	
	資本的	予算現額	958,866,000	1,103,963,000	▲145,097,000	資本的収入額(前年度支出の財源に充当する令和元年度同意済企業債借入額11,500,000円及び令和元年度決定済補助金748,000円を除く)が資本的支出額に対し不足する額145,372,186円は、当年度分損益勘定留保資金145,372,186円で補填。
		決算額	968,326,400	1,101,450,586	▲133,124,186	

令和2年度 各種会計歳入決算前年度比較表

歳入

(単位:千円、%)

会計区分		令和2年度		令和元年度		比較		摘要	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率		
一般会計		22,368,351	69.3	16,356,843	63.7	6,011,508	36.8	【 】内の数字は令和元年度との比較 ○市税 3,385,599 【▲2,508 ▲0.1%】 ○地方特例交付金 27,977 【▲23,495 ▲45.6%】 ○地方交付税 3,990,535 【▲552,071 ▲12.2%】 ○特別定額給付金給付事業費(事務費)補助金 2,879,757 【皆増】 ○災害等廃棄物処理事業費補助金 643,712 【+316,248 +96.6%】 ○ふるさと納税寄付金 2,721,231 【+1,076,303 +65.4%】 ○財政調整基金繰入金 120,000 【▲150,000 ▲55.6%】 ○繰越金 574,508 【+331,506 +136.4%】 ○市債 2,012,828 【+360,406 +21.8%】	
特別会計	国民健康保険事業	3,334,621	10.3	3,391,426	13.2	▲ 56,805	▲ 1.7	○国民健康保険税 508,995 【▲2,020 ▲0.4%】 ○保険給付費等県交付金 2,592,499 【+10,970 +0.4%】 ○一般会計繰入金 213,188 【▲4,565 ▲2.1%】 ○財政調整基金繰入金 皆減 【▲56,000】 ○繰越金 12,359 【▲4,124 ▲25.0%】	
	後期高齢者医療	351,383	1.1	333,555	1.3	17,828	5.3	○後期高齢者医療保険料 249,535 【+12,277 +5.2%】 ○一般会計繰入金 90,501 【+3,078 +3.5%】	
	介護保険	3,184,312	9.9	3,034,589	11.8	149,723	4.9	○介護保険料 621,803 【▲7,963 ▲1.3%】 ○介護給付費負担金(国) 513,037 【+55,357 +12.1%】 ○介護給付費交付金(支払基金) 803,803 【+64,422 +8.7%】 ○一般会計繰入金 469,155 【+31,745 +7.3%】	
	公共下水道事業	0	0	1,314,391	5.1	▲ 1,314,391	皆減		
	農業集落排水事業	0	0	91,668	0.4	▲ 91,668	皆減		
	東根財産区	258	0.0	299	0.0	▲ 41	▲ 13.7	○財産造成基金繰入金 237 【▲41 ▲14.7%】	
	計	6,870,574	21.3	8,165,928	31.8	▲ 1,295,354	▲ 15.9		
企業会計	水道事業	収益的收入	1,085,659	3.3	1,118,205	4.3	▲ 32,546	▲ 2.9	○水道料金 896,220 【▲19,001 ▲2.1%】 ○水道高料金対策一般会計補助金 77,615 【▲2,282 ▲2.9%】 ○修繕引当金戻入益 27,462 【+7,462 +37.3%】
		資本的收入	33,616	0.1	46,714	0.2	▲ 13,098	▲ 28.0	○水道管路耐震化事業費一般会計出資金 19,483 【+1,536 +8.6%】 ○工事負担金 1,210 【▲8,697 ▲87.8%】
	下水道事業	収益的收入	952,497	3.0	0	0.0	952,497	皆増	○公共下水道使用料 278,844 ○農業集落排水事業施設使用料 17,614 ○長期前受金戻入 448,279
		資本的收入	968,326	3.0	0	0.0	968,326	皆増	○企業債 426,100 ○受益者負担金 5,645 ○一般会計補助金 440,761
	計	3,040,098	9.4	1,164,919	4.5	1,875,179	161.0		
合計		32,279,023	100.0	25,687,690	100.0	6,591,333	25.7		

## 令和2年度 各種会計歳出決算前年度比較表

歳出

(単位:千円、%)

会計区分		令和2年度		令和元年度		比較		摘要	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率		
一般会計		21,740,198	68.4	15,569,494	62.1	6,170,704	39.6	【】内の数字は令和元年度との比較 ○ふるさと納税事業 1,271,630 【+500,852 +65.0%】 ○特別定額給付金事業 2,879,757 【皆増】 ○小・中学校情報教育推進事業 317,094 【+274,846 +650.6%】 ○災害救助事業 11,747 【▲270,805 ▲95.8%】 ○災害復旧事業費 1,672,765 【+1,281,986 +328.1%】 ○災害等廃棄物処理事業 1,300,548 【+642,650 +97.7%】 ○公共施設強靱化対策基金積立金 600,003 【+400,003 +200.0%】	
特別会計	国民健康保険事業	3,313,104	10.4	3,383,216	13.5	▲ 70,112	▲ 2.1	○保険給付費 2,477,847 【▲3,696 ▲0.1%】 ○国民健康保険事業費納付金 775,744 【▲46,640 ▲5.7%】 ○保健事業費 29,567 【▲15,612 ▲34.6%】	
	後期高齢者医療	347,583	1.1	331,094	1.3	16,489	5.0	○後期高齢者医療広域連合納付金 330,509 【+14,289 +4.5%】 ○健康診査事業費 7,738 【+1,199 +18.3%】	
	介護保険	3,114,084	9.8	3,020,369	12.0	93,715	3.1	○保険給付費 2,894,356 【+112,897 +4.1%】 ○地域支援事業費 142,242 【+1,992 +1.4%】	
	公共下水道事業	0	0.0	1,313,590	5.2	▲ 1,313,590	皆減		
	農業集落排水事業	0	0.0	91,139	0.4	▲ 91,139	皆減		
	東根財産区	258	0.0	299	0.0	▲ 41	▲ 13.7	○会議費 73 【▲48 ▲39.7%】 ○総務費 6 【+4 +200.0%】 ○財産費 179 【+3 +1.7%】	
	計	6,775,029	21.3	8,139,707	32.4	▲ 1,364,678	▲ 16.8		
企業会計	水道事業	収益的支出	956,233	3.0	1,050,829	4.2	▲ 94,596	▲ 9.0	○枝野浄水場操作盤修繕費 38,500 【▲5,500 ▲12.5%】 ○受水費 380,263 【▲97,585 ▲20.4%】
		資本的支出	244,967	0.8	314,568	1.3	▲ 69,601	▲ 22.1	○建設改良費 185,142 【▲66,317 ▲26.4%】 ○企業債元金償還金 59,825 【▲3,284 ▲5.2%】
	下水道事業	収益的支出	965,793	3.0	0	0.0	965,793	皆増	○施設維持管理費等 795,745 ○支払利息 125,785
		資本的支出	1,101,451	3.5	0	0.0	1,101,451	皆増	○建設改良費 241,301 ○企業債元金償還金 860,149
	計	3,268,444	10.3	1,365,397	5.5	1,903,047	139.4		
合計		31,783,671	100.0	25,074,598	100.0	6,709,073	26.8		

# 令和2年度 一般会計歳入決算前年度比較表

歳入

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較		摘 要 【】内の数字は令和元年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 市 税	3,385,599	15.1	3,388,108	20.7	▲ 2,509	▲ 0.1	○個人市民税 1,108,027 【▲33,552 ▲2.9%】 ○法人市民税 263,602 【+29,827 +12.8%】 ○固定資産税 1,509,423 【+1,585 +0.1%】
2 地 方 譲 与 税	194,205	0.9	189,923	1.2	4,282	2.3	○地方揮発油譲与税 46,546 【▲921 ▲1.9%】 ○自動車重量譲与税 135,423 【▲1,276 ▲0.9%】 ○森林環境譲与税 12,236 【+6,479 +112.5%】
3 利 子 割 交 付 金	1,647	0.0	1,719	0.0	▲ 72	▲ 4.2	
4 配 当 割 交 付 金	7,460	0.0	8,194	0.1	▲ 734	▲ 9.0	
5 株式等譲渡所得割交付金	8,344	0.0	4,984	0.0	3,360	67.4	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	19,638	0.1	0	0.0	19,638	皆増	令和2年4月創設
7 地 方 消 費 税 交 付 金	668,867	3.0	548,977	3.4	119,890	21.8	
8 ゴルフ場利用税交付金	3,104	0.0	3,229	0.0	▲ 125	▲ 3.9	
9 環 境 性 能 割 交 付 金	16,812	0.1	7,808	0.0	9,004	115.3	令和元年10月創設
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	13,092	0.1	12,590	0.1	502	4.0	
11 地 方 特 例 交 付 金	27,977	0.1	51,472	0.3	▲ 23,495	▲ 45.6	○子ども子育て支援臨時交付金 皆減 【▲27,957】
12 地 方 交 付 税	3,990,535	17.8	4,542,606	27.8	▲ 552,071	▲ 12.2	○普通交付税 3,303,717 【+167,076 +5.3%】 ○特別交付税 594,296 【▲578,042 ▲49.3%】 ○震災復興特別交付税 92,522 【▲141,105 ▲60.4%】
13 交通安全対策特別交付金	3,631	0.0	3,568	0.0	63	1.8	
14 分 担 金 及 び 負 担 金	71,650	0.3	78,483	0.5	▲ 6,833	▲ 8.7	○私立保育所保育料負担金 15,297 【▲11,708 ▲43.4%】
15 使 用 料 及 び 手 数 料	116,840	0.5	140,006	0.9	▲ 23,166	▲ 16.5	○保育料 18,499 【▲14,244 ▲43.5%】 ○児童館等利用料 皆減 【▲1,752】
16 国 庫 支 出 金	6,297,112	28.2	1,721,149	10.5	4,575,963	265.9	○特別定額給付金給付事業費(事務費)補助金 2,879,757 【皆増】 ○災害等廃棄物処理事業費補助金 643,712 【+316,248 +96.6%】 ○災害復旧費国庫負担金 648,157 【+639,610 +7,483.4%】
17 県 支 出 金	1,560,405	7.0	1,060,671	6.5	499,734	47.1	○農業用施設災害復旧事業費補助金 107,212 【皆増】 ○強い農業・担い手づくり総合支援事業(被災農業者支援型)費補助金 368,352 【+331,960 +912.2%】
18 財 産 収 入	64,667	0.3	24,432	0.1	40,235	164.7	○土地売却収入 38,258 【+36,795 +2,515.0%】
19 寄 附 金	2,743,220	12.3	1,715,624	10.5	1,027,596	59.9	○ふるさと納税寄附金 2,721,231 【+1,076,303 +65.4%】 ○角田市育英会寄附金 13,053 【▲37,947 ▲74.4%】
20 繰 入 金	183,656	0.8	379,212	2.3	▲ 195,556	▲ 51.6	○財政調整基金繰入金 120,000 【▲150,000 ▲55.6%】 ○文化財取得基金繰入金 皆減 【▲40,846】
21 繰 越 金	574,508	2.6	243,002	1.5	331,506	136.4	○純繰越金 200,000 【±0】 ○繰越財源繰越金 374,508 【+331,506 +770.9%】
22 諸 収 入	402,554	1.8	548,565	3.3	▲ 146,011	▲ 26.6	○東京電力福島第一原子力発電所事故に係る損害賠償金 12 【▲119,688 ▲99.9%】 ○学校給食費納付金 93,146 【▲23,347 ▲20.0%】
23 市 債	2,012,828	9.0	1,652,422	10.1	360,406	21.8	○小学校施設整備事業充当債 皆減 【▲179,800】 ○農業用施設災害復旧債 113,600 【+103,300 +1,002.9%】 ○災害対策債 689,800 【+331,100 +92.3%】
○自動車取得税交付金	0	0.0	30,099	0.2	▲ 30,099	皆減	
	22,368,351	100.0	16,356,843	100.0	6,011,508	36.8	

# 令和2年度 一般会計歳出決算前年度比較表

歳出

(単位:千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較		摘 要
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 議 会 費	153,877	0.7	161,621	1.0	▲ 7,744	▲ 4.8	○議員報酬 58,214 【▲3,208 ▲5.2%】 ○議員共済会負担金 23,997 【▲2,584 ▲9.7%】
2 総 務 費	7,159,343	32.9	3,449,681	22.2	3,709,662	107.5	○特別定額給付金事業 2,879,757 【皆増】 ○公共施設強靱化対策基金積立金 600,003 【+400,003 +200.0%】 ○ふるさと納税事業 1,271,630 【+500,852 +65.0%】
3 民 生 費	3,931,044	18.1	4,050,812	26.0	▲ 119,768	▲ 3.0	○障害者総合支援給付事業 582,062 【+53,742 +10.2%】 ○ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業 41,584 【皆増】 ○子育て世帯への臨時特別給付金支給事業 34,348 【皆増】 ○災害救助事業 11,747 【▲270,805 ▲95.8%】 ○介護保険特別会計繰出金 469,155 【+31,745 +7.3%】
4 衛 生 費	2,407,672	11.1	1,625,768	10.4	781,904	48.1	○みやぎ県南中核病院企業団負担金及び出資金 337,922 【+30,042 +9.8%】 ○仙南がんセンター負担金 97,520 【+23,126 +31.1%】 ○災害等廃棄物処理事業 1,300,548 【+642,650 +97.7%】 ○上水道管路耐震化事業費出資金 19,483 【+1,536 +8.6%】
5 労 働 費	14,597	0.1	15,495	0.1	▲ 898	▲ 5.8	○婦人研修センター指定管理料 1,292 【▲299 ▲18.8%】 ○シルバー人材センター補助金 12,399 【▲601 ▲4.6%】
6 農 林 業 費	1,021,209	4.7	656,731	4.2	364,478	55.5	○土地改良施設維持管理適正化事業 1,449 【▲16,083 ▲91.7%】 ○農村地域防災減災事業 9,348 【▲16,109 ▲63.3%】 ○強い農業・担い手づくり総合支援事業(被災農業者支援型)費補助金 389,559 【+350,778 +904.5%】 ○農業振興基金積立金 50,002 【+49,999 +1,666,633.3%】
7 商 工 費	600,347	2.8	353,433	2.3	246,914	69.9	○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業 46,310 【皆増】 ○小規模事業者等事業継続応援金支給事業 78,681 【皆増】 ○飲食事業者等事業継続応援金支給事業 37,012 【皆増】 ○地域消費喚起緊急支援事業 87,808 【皆増】
8 土 木 費	1,643,420	7.5	1,614,412	10.4	29,008	1.8	○坊前線道路整備事業 68,163 【+64,371 +1,697.5%】 ○道路舗装事業 3,595 【▲48,196 ▲93.1%】 ○橋りょう維持補修事業 72,063 【▲168,527 ▲70.0%】 ○角田中央公園管理事業 111,490 【+49,708 +80.5%】 ○都市整備基金積立金 100,018 【+100,000 +555,555.6%】
9 消 防 費	466,259	2.1	509,649	3.3	▲ 43,390	▲ 8.5	○仙南広域消防費負担金 339,650 【+5,962 +1.8%】 ○災害対策事業 41,712 【▲31,407 ▲42.9%】 ○農林業系廃棄物収集運搬業務委託料 皆減 【▲18,191】
10 教 育 費	1,471,336	6.8	1,607,553	10.3	▲ 136,217	▲ 8.5	○小・中学校施設整備事業 12,318 【▲312,742 ▲96.2%】 ○小・中学校情報教育推進事業 317,094 【+274,846 +650.6%】 ○文化財保護基金積立金 1,004 【▲39,846 ▲97.5%】
11 災 害 復 旧 費	1,672,765	7.7	390,779	2.5	1,281,986	328.1	○農業用施設災害復旧費 288,328 【+228,577 +382.5%】 ○農地災害復旧費 117,994 【+116,597 +8,346.2%】 ○公共土木施設災害復旧費 1,165,320 【+864,661 +287.6%】
12 公 債 費	1,160,193	5.3	1,133,560	7.3	26,633	2.3	○定期償還元金 1,102,356 【+35,554 +3.3%】 ○定期償還利息 57,837 【▲8,921 ▲13.4%】
13 諸 支 出 金	38,136	0.2	0	0.0	38,136	皆増	○土地取得事業 38,136 【皆増】
歳 出 合 計	21,740,198	100.0	15,569,494	100.0	6,170,704	39.6	

# 令和2年度 一般会計性質別歳出決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較		摘 要 【】内の数字は令和元年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
義務的経費	5,743,239	26.4	5,582,003	35.8	161,236	2.9	
人件費	2,515,721	11.6	2,434,745	15.6	80,976	3.3	○職員給(給料・手当) 1,429,893 【▲620 ▲0.1%】 ○職員退職手当組合負担金 244,346 【+27,002 12.4%】 ○職員共済組合負担金 293,104 【+15,603 +5.6%】
扶助費	2,067,310	9.5	2,013,674	12.9	53,636	2.7	○障害者自立支援給付費 557,056 【+63,342 +12.8%】 ○生活保護費 148,842 【+13,578 10.0%】 ○子育て世帯への臨時特別給付金 31,540 【皆増】 ○災害見舞金 皆減 【▲52,285】
公債費	1,160,208	5.3	1,133,584	7.3	26,624	2.3	○定期償還元金 1,102,356 【+35,554 +3.3%】 ○定期償還利子 57,837 【▲8,921 ▲13.4%】 ○基金繰替運用利子 15 【▲9 ▲37.5%】
一般行政経費	12,888,237	59.3	8,180,318	52.6	4,707,919	57.6	
物件費	3,838,614	17.7	2,912,245	18.7	926,369	31.8	○ふるさと納税事業事務費 471,115 【+121,062 +34.6%】 ○災害等廃棄物処理業務委託料 740,983 【+122,322 +19.8%】 ○被災家屋等解体撤去処理業務委託料 218,595 【皆増】
維持補修費	187,021	0.9	150,116	1.0	36,905	24.6	○道路維持管理委託料 46,874 【+7,245 +18.3%】 ○道路(橋りょう)定期点検業務委託料 18,926 【皆増】 ○河川浚渫測量業務委託料 2,800 【皆増】
補助費等	6,613,265	30.4	2,539,068	16.3	4,074,197	160.5	○特別定額給付金 2,853,600 【皆増】 ○ふるさと納税返礼報償費 695,798 【+275,073 +65.4%】 ○小規模事業者等事業継続応援金 78,600 【皆増】 ○公共下水道事業補助金・負担金 583,400 【皆増】
積立金	1,158,686	5.3	911,483	5.9	247,203	27.1	○財政調整基金積立金 64 【▲113,559 ▲99.9%】 ○減債基金積立金 381,657 【▲118,389 ▲23.7%】 ○公共施設強靱化対策基金積立金 600,003 【+400,003 +200.0%】
投資及び出資金・貸付金	317,807	1.5	291,737	1.9	26,070	8.9	○みやぎ県南中核病院企業団出資金 142,904 【+24,539 +20.7%】 ○水道管路耐震化事業費出資金 19,483 【+1,536 8.6%】
繰出金	772,844	3.5	1,375,669	8.8	▲ 602,825	▲ 43.8	○介護保険特別会計繰出金 469,155 【+31,745 +7.3%】 ○公共下水道事業特別会計繰出金 皆減 【▲584,328】 ○農業集落排水事業特別会計繰出金 皆減 【▲48,755】
投資的経費	3,108,722	14.3	1,807,173	11.6	1,301,549	72.0	
普通建設事業費	1,374,408	6.3	1,382,840	8.9	▲ 8,432	▲ 0.6	○強い農業・担い手づくり総合支援事業(被災農業者支援型)費補助金 389,559 【+350,778 904.5%】 ○枝野橋橋りょう補修事業 72,063 【▲158,473 ▲68.7%】 ○小・中学校空調設備設置工事費 皆減 【▲272,994】
災害復旧事業費	1,734,314	8.0	424,333	2.7	1,309,981	308.7	○農業用施設災害復旧費 291,400 【+231,649 +387.7%】 ○農地災害復旧費 122,605 【+121,208 +8,676.3%】 ○公共土木施設災害復旧費 1,165,320 【+864,661 +287.6%】
歳出合計	21,740,198	100.0	15,569,494	100.0	6,170,704	39.6	



## 令和2年度 市税決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較		摘 要 【 】内の数字は令和元年度との比較
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
1 市 民 税	1,371,629	40.5	1,375,354	40.6	▲ 3,725	▲ 0.3	
(1) 個 人	1,108,027	32.7	1,141,579	33.7	▲ 33,552	▲ 2.9	○均等割 47,262 【▲283 ▲0.6%】 ○所得割 1,060,764 【▲33,270 ▲3.0%】
(2) 法 人	263,602	7.8	233,775	6.9	29,827	12.8	○均等割 75,755 【+7,700 +11.3%】 ○法人税割 187,848 【+22,128 +13.4%】
2 固 定 資 産 税	1,509,423	44.6	1,507,838	44.5	1,585	0.1	
(1) 土 地	459,350	13.5	458,667	13.5	683	0.1	
(2) 家 屋	697,819	20.7	682,406	20.2	15,413	2.3	○新築家屋の増
(3) 償 却 資 産	351,238	10.4	365,748	10.8	▲ 14,510	▲ 4.0	○設備投資の減
(4) 国 有 資 産 等 所 在 市 町 村 交 付 金	1,016	0.0	1,017	0.0	▲ 1	▲ 0.1	
3 軽 自 動 車 税	113,923	3.4	110,142	3.3	3,781	3.4	
(1) 環 境 性 能 割	3,547	0.1	1,573	0.1	1,974	125.5	○令和元年10月創設
(2) 種 別 割	110,376	3.3	108,569	3.2	1,807	1.7	○名称変更(旧:軽自動車税)
4 市 た ば こ 税	214,782	6.3	221,587	6.5	▲ 6,805	▲ 3.1	○販売本数の減
5 都 市 計 画 税	175,842	5.2	173,187	5.1	2,655	1.5	○土地 74,440 【+148 +0.2%】 ○家屋 101,402 【+2,507 +2.5%】
合 計	3,385,599	100.0	3,388,108	100.0	▲ 2,509	▲ 0.1	

## 令和2年度 都市計画税充当説明資料

(単位:千円)

区 分	一般会計 歳出科目	決算額	財 源 内 訳				一般財源の うち都市計 画税充当額 ②	その他一般 財源充当額 ①-②
			国県支出金	地方債	その他	一般財源 ①		
街 路	-					0	/	/
公 園	-					0		
下水道 <small>(下水道事業会計負担金・補助金 のうち建設費充当額)</small>	-					0		
都市計画事業	/	0	0	0	0	0		
土地区画整理事業	-					0		
街 路	-					0		
公 園	12-1-1 12-1-2	1,766				1,766		
下水道 <small>(下水道事業会計負担金・補助金 のうち公債費充当額)</small>	8-5-1	498,911				498,911		
土地区画整理事業	-	0				0		
過去の都市計画事業等に係る 公債費(地方債の元利償還金)	/	500,677	0	0	0	500,677		
合 計	/	500,677	0	0	0	500,677	175,842	324,835

※令和2年度は、過年度実施の公園整備事業及び下水道事業に係る地方債の元利償還金等に充てられている。

※「都市計画税充当額」は、都市計画税を区分ごとの予算額である。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)	地方消費税交付金（社会保障財源化分）	350,432 千円
(歳出)	社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費	4,117,547 千円

【社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業	令和２年度 決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	2,482,024	1,427,271		77,256	149,885	827,612
社会保険	1,050,151	201,804		304	130,035	718,008
保健衛生	585,372	125,256		259	70,512	389,345
合計	4,117,547	1,754,331		77,819	350,432	1,934,965

※１ 社会保障財源化分の地方消費税交付金は、社会保障４経費その他社会保障施策（社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策をいう。）に要する経費に充てるものとされている。

(注) 「社会保障４経費」…制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費

※２ 事業の「社会福祉」は障害者福祉事業、児童福祉事業など。「社会保険」は国民健康保険事業、介護保険事業など。「保健衛生」は地域医療対策事業、感染症予防事業など。

※３ 「社会保障財源化分の地方消費税交付金」の合計額は、地方消費税交付金の決算額668,867千円のうち社会保障財源化分350,432千円を計上。  
「社会福祉」「社会保険」「保健衛生」の「社会保障財源化分の地方消費税交付金」は、「社会保障財源化分の地方消費税交付金合計額」を一般財源額であん分。

## 令和2年度 地方交付税の概要

### 1 普通交付税

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減		増減理由等	
			増減額	増減率		
基準財政需要額	個別算定経費（(b)～(e)を除く） (a)	5,229,258	5,192,682	36,576	0.7	消防費4,116、土木費▲5,758、教育費▲5,883、厚生費53,439、総務費▲9,335
	地域の元気創造事業費 (b)	99,338	87,503	11,835	13.5	新規経常態様補正費目（高齢者就業率・クラウド導入率）の追加による増
	人口減少等特別対策事業費 (c)	155,764	153,099	2,665	1.7	
	地域社会再生事業費 (d)	131,356	0	131,356	皆増	R2年度新設科目
	公債費 (e)	679,039	637,809	41,230	6.5	H28同意等債の理論償還率の増、H26同意等債（市民センター整備事業）の理論償還率の増
	包括算定経費 (f)	861,645	816,445	45,200	5.5	単位費用の増（会計年度任用職員制度等）
	小計（(a)～(f)の合計） (g)	7,156,400	6,887,538	137,506	3.9	
	臨時財政対策債振替額 (h)	350,588	358,522	▲7,934	▲2.2	
	錯誤措置額 (i)	▲2,320	0			
	合計（(g)－(h)＋(i)） ①	6,803,492	6,529,016	274,476	4.2	
基準財政収入額 (j)	3,496,585	3,386,625	109,960	3.2	市町村民税▲61,934、法人事業税交付金15,504（R2年度新設）、地方消費税交付金142,921	
錯誤措置額 (k)	▲286	0				
合計（(j)＋(k)） ②	3,496,299	3,386,625	109,674	3.2		
交付基準額 ③（=①－②）	3,307,193	3,142,391	164,802	5.2		
調整額 ④	▲3,476	▲5,750				
普通交付税の決定額 ⑤（=③＋④）	3,303,717	3,136,641	167,076	5.3		

### 2 特別交付税

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減		令和2年度の算入内容	
			増減額	増減率		
通常分 ⑥	594,296	1,172,338	▲578,042	▲49.3	令和元年度は東日本台風災害分により大幅増 ※H30交付額431,449	
震災復興分 ⑦	92,522	233,627	▲141,105	▲60.4		
災害復旧事業	0	19,023	▲19,023	皆減	仙南クリーンセンター負担金（農林業系廃棄物処理業務）農林業系廃棄物収集運搬業務 R2実施なし	
原発事故関係	風評被害対策等	3,282	566	2,716	479.9	空間放射線量測定、農産物等放射性物質検査
	子どもの生活支援等	76	19	57	300.0	学校給食及び保育所給食の放射能測定検査
地方税法の改正等に伴う地方税の減収額	12,143	1,051	11,092	1,055.4	市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税、自動車取得税交付金、軽自動車税環境性能割	
復興特区における課税免除	191,518	212,763	▲21,245	▲10.0	固定資産税（償却資産、家屋、土地）	
過年度分過大・過少算定額	▲114,497	205			過年度算定対象分の事業費が確定したことによる精算分 東電賠償に伴う返還分▲106,039	
合計 ⑧（=⑥＋⑦）	686,818	1,405,965	▲719,147	▲51.1		

### 3 地方交付税の総額

(単位：千円、%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減	
			増減額	増減率
地方交付税（=⑤＋⑧）	3,990,535	4,542,606	▲552,071	▲12.2

## 令和2年度 各種基金の状況

(単位：千円)

基金名	令和元年度末 現在高	令和2年度中の増減額			令和2年度末 現在高	令和3年度中の増減見込額		令和3年度末 現在高見込額
		積立額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩額	取崩額の説明・充当先		積立予定額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩予定額	
財政調整基金	1,396,315	64 212,841	120,000	歳入歳出財源不足に対応した取崩し	1,489,220	50 228,325	680,330	1,037,265
減債基金	1,081,737	381,657	50,000	公債費増に対応した取崩し	1,413,394	30	50,000	1,363,424
その他特定目的基金	594,801	776,965	13,656		1,358,110	534,919	126,594	1,766,435
明日を拓く人材育成基金	81,552	8			81,560	2	700	80,862
公共施設強靱化対策基金	200,000	600,003			800,003	500,020		1,300,023
角田市育英会奨学金基金	47,190	13,689	6,766	角田市育英会奨学金事業6,766	54,113	21,075	11,897	63,291
長寿社会対策基金	1,674				1,674	1		1,675
21世紀の田園文化創造基金	7,869	1			7,870	1		7,871
農業振興基金	23,163	50,002	1,500	野菜生産振興事業1,100、農業経営法人化支援事業400	71,665	1	12,100	59,566
森林環境整備基金	4,139	12,236	1,980	林業振興対策事業1,980	14,395	13,807	8,147	20,055
都市整備基金	149,857	100,018			249,875	10	86,100	163,785
文化財保護基金	38,900	1,004	250	文化財保護助成事業250	39,654	1	2,150	37,505
スポーツ振興基金	40,457	4	3,160	各種スポーツ振興事業（阿武隈リバーサイドマラソン大会300、スポーツ団体・クラブ2,800、各種大会出場助成60）	37,301	1	5,500	31,802
合計	3,072,853	1,158,686 212,841	183,656		4,260,724	534,999 228,325	856,924	4,167,124

基金名	令和元年度末 現在高	令和2年度中の増減額			令和2年度末 現在高	令和3年度中の増減見込額		令和3年度末 現在高見込額
		積立額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩額	取崩額の説明・充当先		積立予定額 ※下段：前年度 決算剰余金処分 による積立	取崩予定額	
国民健康保険事業財政調整基金	372,888	88 4,106		歳入歳出財源不足に対応した取崩し	377,082	40 10,759	143,905	243,976
介護保険事業財政調整基金	382,210	3,843		歳入歳出財源不足に対応した取崩し	386,053	20 43,747	21,325	408,495
東根財産区財産造成基金	4,915	1	238	歳入歳出財源不足に対応した取崩し	4,678	1	464	4,215

※ 定額運用基金は除く。

※ 令和3年度の積立予定額及び取崩予定額は、9月補正後の見込額。

令和元年東日本台風に係る災害復旧費等の決算状況

(単位：千円)

●一般会計

事業区分	事業名	総計 (イ+ロ+ハ)	令和元年～令和2年度					令和2年度からの繰越					令和3年度					備考			
			決算額 (イ)	財源内訳				繰越額 (ロ)	財源内訳				歳出 科目	9月補正後 予算額 (ハ)	財源内訳						
				国 支	県 金	地 方 債	そ の 他		一 般 財 源	国 支	県 金	地 方 債			そ の 他	一 般 財 源	国 支		県 金	地 方 債	そ の 他
災害復旧	農業用施設災害復旧事業	530,426	351,151	113,010	112,456	78,833	46,852	156,373	65,581	42,500		48,292	11-1-1	22,902			3,200		19,702	農林業費で支出の 支弁人件費を含む	
	林業用施設災害復旧事業	64,961	64,961	30,250	13,600	1,487	19,624	0					-	0						農林業費で支出の 支弁人件費を含む	
	農地災害復旧事業	124,002	124,002	86,464	16,700	14,656	6,182	0					-	0						農林業費で支出の 支弁人件費を含む	
	公共土木施設災害復旧事業（公園含む）	1,928,070	1,487,184	696,570	454,100	158,085	178,429	422,413	288,862	100,300		33,251	11-2-1	18,473					18,473	土木費で支出の 支弁人件費を含む	
	公営住宅災害復旧事業	1,123	1,123		1,100								-	0							
	公立学校施設災害復旧事業	254	254										-	0							
	公立社会教育施設災害復旧事業（各自治センター、総合体育館、子ども図書館等）	10,813	10,813		3,153	6,400						1,260	-	0							
	その他公共施設・公用施設災害復旧事業（市民センター、斗蔵山遊歩道等）	5,380	5,380		1,104	2,600						1,676	-	0							
	民生施設災害復旧事業（北郷児童センターエアコン）	1,151	1,151		1,150							1	-	0							
	衛生施設災害復旧事業（笠島共葬墓地等）	98,472	58,172		57,300	48		824	40,300		40,300		-	0							
阿武隈急行災害復旧事業費等補助金	53,958	53,958		52,700			1,258	0				-	0								
行政区集会所原形復旧支援補助金（認可地縁団体分：南岡）	500	500		500				0				-	0								
小計（Ⅰ）	2,819,110	2,158,649	931,701	717,456	253,109	256,383	619,086	354,443	183,100	0	81,543		41,375	0	3,200	0		38,175			
処廃棄物	災害等廃棄物処理事業	1,959,542	1,959,542	970,047	971,100		18,395	0					-	0							
	仙南地域広域行政事務組合負担金（仙南クリーンセンター・仙南リサイクルセンター災害廃棄物処理分）	85,626	85,626		77,400		8,226	0					-	0							
小計（Ⅱ）	2,045,168	2,045,168	970,047	1,048,500	0	26,621	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0			
その他	災害派遣職員受入事業（災害派遣手当、災害派遣職員負担金等）	46,239	46,239				46,239	0					-	0							
	阿武隈急行代替輸送事業費補助金（不通区間救済バス運行支援）	1,721	1,721				1,721	0					-	0							
	行政区集会所原形復旧支援補助金（北江尻、西根1区、地藏堂）	1,199	1,199				1,199	0					-	0							
	災害救助事業（住宅応急修理費、被災者住宅応急修理補助金、災害見舞金等）	294,299	294,299	228,033			66,266	0					-	0							
	仙南地域広域行政事務組合負担金（仙南最終処分場災害復旧事業分）	3,013	3,013				3,013	0					-	0							
	強い農業・担い手づくり総合支援事業（被災農業者支援型）費補助金	428,340	428,340	404,744		21,207	2,389	0					-	0							
	被災農家等営農再開緊急対策事業費補助金（保管米浸水農家等営農再開支援）	3,048	3,048	2,743			305	0					-	0							
	令和元年台風第19号農業関連利子補給金（災害対応資金、復旧支援資金）	111	111				111	0					-	0							
	強い農業・担い手づくり総合支援事業（被災産地支援型）費補助金等	540,750	0					540,750	540,750				-	0							
災害対策費（浸水家屋等消毒、排水ポンプ設置委託料）	25,693	25,693				25,693	0					-	0								
土砂災害復旧等支援助成金	14,815	14,815				14,815	0					-	0								
小計（Ⅲ）	1,359,228	818,478	635,520	0	21,207	161,751	540,750	540,750	0	0	0		0	0	0	0	0	0			
合計	6,223,506	5,022,295	2,537,268	1,765,956	274,316	444,755	1,159,836	895,193	183,100	0	81,543		41,375	0	3,200	0		38,175			

※「総計（イ+ロ+ハ）」は、令和元年度から令和2年度までの決算額、令和2年度からの繰越額及び令和3年度の9月補正後予算額の合算額です。

## 令和2年度 各種会計地方債の状況

(単位：千円)

会計区分	地方債区分	令和元年度末 現在高	令和2年度中増減額		令和2年度末 現在高	令和3年度中増減見込額 (令和2年度繰越分含む)(9月補正後見込)		令和3年度末 現在高見込額	
			起債額	元金償還額		起債見込額	元金償還見込額		
一般会計	1. 普通債	(14,507) 8,964,143	406,700	(3,364) 631,506	(11,143) 8,739,337	838,400	(3,517) 683,441	(7,626) 8,894,296	
	2. 災害復旧債	714,455	1,218,300	22,920	1,909,835	207,700	40,300	2,077,235	
	3. 減税補てん債	70,716		19,361	51,355		16,420	34,935	
	4. 臨時財政対策債	5,615,294	350,588	428,569	5,537,313	500,000	459,730	5,577,583	
	5. 減収補てん債		37,240		37,240			37,240	
	小計	(14,507) 15,364,608	2,012,828	(3,364) 1,102,356	(11,143) 16,275,080	1,546,100	(3,517) 1,199,891	(7,626) 16,621,289	
企業会計	水道事業	1. 企業債	755,231	59,825	695,406		63,147	632,259	
		小計	755,231	59,825	695,406		63,147	632,259	
	公共下水道事業	1. 公共下水道事業債	(347,285) 5,709,618	121,300	(82,017) 515,818	(265,268) 5,315,100	164,500	(85,589) 505,606	(179,679) 4,973,994
		2. 流域下水道事業債	(17,001) 222,695	7,500	(4,866) 21,841	(12,135) 208,354	15,300	(5,081) 18,570	(7,054) 205,084
		3. 災害復旧債	78,081		4,712	73,369		4,757	68,612
		4. 資本費平準化債	2,829,118	267,600	212,121	2,884,597	250,100	215,964	2,918,733
		5. 下水道事業特例債	700,637		44,440	656,197		48,102	608,095
		小計	(364,286) 9,540,149	396,400	(86,883) 798,932	(277,403) 9,137,617	429,900	(90,670) 792,999	(186,733) 8,774,518
	農業集落排水事業	1. 農業集落排水事業債	445,078	7,700	43,649	409,129	2,700	44,928	366,901
		2. 災害復旧債	8,757		412	8,345		415	7,930
		3. 資本費平準化債	206,420	22,000	17,156	211,264	22,200	16,965	216,499
		小計	660,255	29,700	61,217	628,738	24,900	62,308	591,330
	合計	(378,793) 26,320,243	2,438,928	(90,247) 2,022,330	(288,546) 26,736,841	2,000,900	(94,187) 2,118,345	(194,359) 26,619,396	

※ 貸付利率4.0%以上の地方債現在高は、( )で内書きしています。

## 令和2年度 健全化判断比率及び資金不足比率について

### 1. 健全化判断比率 [財政の早期健全化・再生に関する判断比率]

- 早期健全化基準を超える場合：自主的な改善努力による財政健全化（財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け）
- 財政再生基準を超える場合：国等の関与による確実な再生（財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け、地方債の起債の制限）

	説 明	令和2年度決算に基づく比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	「一般会計等」を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	— ( — )	13.74%	20.00%
連結実質赤字比率	「全会計」を対象とした実質赤字（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	— ( — )	18.74%	30.00%
実質公債費比率	「一般会計等」が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率	9.2% ( 8.2%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	「一般会計等」が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	79.5% ( 97.6%)	350.0%	—

※「一般会計等」…角田市の場合は一般会計のみ対象、「全会計」……角田市の場合は東根財産区特別会計を除く

※ ( ) は令和元年度決算に基づく比率

### 2. 資金不足比率 [公営企業の経営健全化に関する判断比率]

- 経営健全化基準を超える場合：経営健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け

	説 明	会計区分	令和2年度決算に基づく比率	経営健全化基準
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率	水道事業会計	— ( — )	20.0%
		下水道事業会計	— ( — )	

※ ( ) は令和元年度決算に基づく比率



## 健全化判断比率等の概要について

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

○ 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率（令和2年度決算では実質赤字額はなし）

・ 実質赤字額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

繰上充用額：歳入不足のため、翌年度歳入を繰り上げて充用した額（なし）

支払繰延額：実質上歳入不足のため、支払を翌年度に繰り延べた額（なし）

事業繰越額：実質上歳入不足のため、事業を繰り越した額（なし）

・ 標準財政規模（標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常一般財源の額）

= 標準税収入額等（4,378,845千円）+ 普通交付税（3,303,717千円）+ 臨時財政対策債発行可能額（350,588千円）

= 8,033,150千円

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額} \{ (A+B) - (C+D) \}}{\text{標準財政規模}}$$

○ 全会計を対象とした実質赤字額（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率

（令和2年度決算では実質赤字額又は資金の不足額を生じた会計はなし）

A：一般会計及び公営企業（地方公営企業法適用企業・非適用企業）以外の特別会計のうち、実質赤字を生じた会計の実質赤字の合計額（なし）

B：公営企業の特別会計のうち、資金の不足額を生じた会計の資金の不足額の合計額（なし）

C：一般会計及び公営企業以外の特別会計のうち、実質黒字を生じた会計の実質黒字の合計額（543,870千円）

D：公営企業の特別会計のうち、資金の剰余額を生じた会計の資金の剰余額の合計額（917,253千円）

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{(地方債の元利償還金+準元利償還金)} - \text{(特定財源+元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}}{\text{標準財政規模} - \text{(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}} \text{の3か年平均}$$

○ 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

- ・ 地方債の元利償還金：1,159,946千円
- ・ 準元利償還金（①～⑤の合計額）：760,925千円
  - ① 満期一括償還地方債について、償還期間を30年とする元金均等年賦償還をした場合の1年当たりの元金償還金相当額（なし）
  - ② 一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち公営企業債の償還に充てたと認められるもの（599,275千円）
  - ③ 組合・地方開発事業団（組合等）への負担金・補助金のうち、組合等が起こした地方債の償還の財源に充てたと認められるもの（161,009千円）
  - ④ 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの（641千円）
  - ⑤ 一時借入金の利子（なし）
- ・ 特定財源（住宅使用料、都市計画税等）：151,363千円
- ・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額：1,128,648千円
- ・ 標準財政規模：8,033,150千円

※ 令和2年度の単年度の実質公債費比率は、上記の算式により9.28177%になるが、平成30年度、令和元年度の単年度の比率はそれぞれ8.68356%、9.84707%となっているので、3か年平均は9.2%になる。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

○ 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

・ 将来負担額（①～⑧の合計額）：28,579,496千円

① 一般会計等の地方債現在高（16,089,880千円）

② 債務負担行為に基づく支出予定額（地方財政法第5条各号の経費等に係るもの）（なし）

③ 一般会計等以外の会計の地方債の元金償還に充てる一般会計等からの繰出見込額（8,829,633千円）

④ 当該団体が加入する組合等の地方債の元金償還に充てる当該団体からの負担等見込額（1,705,299千円）

⑤ 退職手当支給予定額（全職員に対する期末要支給額）のうち、一般会計等の負担見込額（1,761,058千円）

⑥ 地方公共団体が設立した一定の法人の負債の額、その者のために債務を負担している場合の当該債務の額のうち、当該法人等の財務・経営状況を勘案した一般会計等の負担見込額及び公的信用保証に係る損失補償見込額（なし）

⑦ 連結実質赤字額（なし）

⑧ 組合等の連結実質赤字額相当額のうち一般会計等の負担見込額（193,626千円）

・ 充当可能基金額：5,220,363千円

・ 特定財源見込額（住宅使用料、都市計画税等）：2,059,520千円

・ 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額：15,809,831千円

・ 標準財政規模：8,033,150千円

・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額：1,128,648千円

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

○ 公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率

（令和2年度決算では、いずれの会計も資金の不足額はなし）

資金の不足額：一般会計等の実質赤字に相当するものとして公営企業会計ごとに算定した額（なし）

事業の規模：料金収入など主たる営業活動から生じる収益等に相当する額

水道事業会計（821,048千円） 下水道事業会計（346,090千円）

健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等

一般会計等	一般会計 ○						
	一般会計等に属する特別会計	公債管理 勤労者福祉共済 母子寡婦福祉資金貸付 その他事業					
公営事業会計	一般会計等以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の特別会計	国民健康保険 ○ 駐車場					
		介護保険 ○ 交通災害共済					
		後期高齢者医療 ○ 公営競技					
		農業共済 公立大学付属病院					
		老人保健医療 有料道路					
		介護サービス					
公営企業会計	公営企業に係る会計 (地公企法を適用する事業又は地財令第46条の事業)	法適用企業・法非適用企業	水道事業 ○ 病院				
		簡易水道 市場					
		工業用水道 と畜場					
		交通 宅地造成					
		電気 下水道(農集排含む) ○					
		ガス 観光施設					
		港湾整備 その他法適用事業					
		一部事務組合・広域連合	宮城県市町村職員退職手当組合 ○ 宮城県後期高齢者医療広域連合 ○ 仙南地域広域行政事務組合 ○ 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合 ○ 宮城県市町村自治振興センター ○ みやぎ県南中核病院企業団 ○				

※○は、角田市の健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等です。

## 令和2年度 普通会計決算状況分析主要指標

角田市における主要指標の推移(10か年)

単位:%(財政力指数を除く)

項目 年度	財政力 指数	実質収支 比率	経常一般 財源比率	経常収支 比率	義務的経費 比率	投資的経費 比率	財 調 現在高比率	積立金 現在高比率	地 方 債 現在高比率	実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
平成 23 年度	0.46	5.1	94.9	91.6	38.7	17.3	21.9	33.6	134.1	-	-	10.9	67.7
平成 24 年度	0.44	5.7	96.5	93.2	40.8	15.6	24.5	37.2	133.9	-	-	11.4	66.8
平成 25 年度	0.46	7.2	92.0	93.0	40.2	17.2	27.2	40.7	136.2	-	-	11.2	70.9
平成 26 年度	0.48	5.1	90.6	97.8	35.6	26.8	24.5	36.5	159.5	-	-	9.8	72.9
平成 27 年度	0.50	4.8	92.9	97.5	36.5	18.2	25.0	36.9	170.5	-	-	8.0	76.9
平成 28 年度	0.50	4.7	94.5	96.9	38.3	17.4	23.5	37.4	179.8	-	-	7.0	82.9
平成 29 年度	0.50	4.7	93.6	99.2	39.9	17.3	19.5	33.1	183.8	-	-	6.6	90.9
平成 30 年度	0.51	5.2	92.9	103.0	38.4	19.4	17.3	29.4	189.8	-	-	7.1	105.2
令和 元 年度	0.52	5.3	93.3	105.2	35.3	11.6	18.0	39.6	197.8	-	-	8.2	97.6
令和 2 年度	0.52	5.6	93.5	98.8	26.0	14.3	18.5	53.0	202.6	-	-	9.2	79.5

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、いずれも赤字でないことから「-」と表記しています。

～普通会計決算状況分析主要指標の見方～

1. **財政力指数**……基準財政収入額／基準財政需要額で表され、この数値が1に近く、あるいは超えるほど財政力が強いとみることができる。3か年平均の数値。

2. **実質収支比率**……標準財政規模に対する実質収支の割合である。通常この比率は3～5％程度が望ましいとされている。

$$\text{(算式)} \quad (\text{実質収支額} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

3. **経常一般財源比率**……毎年度経常的に収入され、かつ自由にその用途を決定することのできる財源の標準財政規模に対する割合である。この比率が高いほど財政運営は弾力的であるといえる。

$$\text{(算式)} \quad (\text{経常一般財源収入額} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

4. **経常収支比率**……財政構造の弾力性をみるうえで最も重要な比率であり、人件費、扶助費、公債費等のように容易に縮減することのできない経常的経費に、市税、普通交付税等を中心とする経常的な一般財源がどの程度充当されているかを測定しようとするものである。

$$\text{(算式)} \quad (\text{歳出総額のうち経常的経費に充当した一般財源} / \text{歳入総額のうち広義の経常的一般財源}) \times 100$$

5. **義務的経費比率**……歳出総額に対する義務的経費の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{人件費} + \text{扶助費} + \text{公債費}) / \text{歳出総額} \times 100$$

6. **投資的経費比率**……歳出総額に対する投資的経費の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{普通建設事業費} + \text{災害復旧事業費} + \text{失業対策事業費}) / \text{歳出総額} \times 100$$

7. **財調現在高比率・積立金現在高比率**……標準財政規模に対する財政調整基金(積立金現在高比率:財政調整基金+減債基金+特定目的基金)現在高の割合である。この比率が高いほど将来に対する蓄えが大であるということがいえる。

$$\text{(算式)} \quad (\text{財政調整基金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

$$(\text{積立金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

8. **地方債現在高比率**……標準財政規模に対する地方債現在高の割合である。

$$\text{(算式)} \quad (\text{地方債年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$$

9. **実質赤字・連結実質赤字比率**……一般会計等(連結実質赤字比率:特別会計等の全会計を含む)を対象とした実質赤字(連結実質赤字比率:実質赤字又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率。

10. **実質公債費比率**……一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、3か年平均の数値。(以前の地方債発行の指標であった「起債制限比率」から、平成18年度より下水道など公営企業債の返済に充てられた繰出金なども債務として算定する。地方債協議(届出)制度の下、この比率が18％以上になると、地方債の発行に際し許可が必要となる。)

11. **将来負担比率**……一般会計等において、今後、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合である。

《注》 **標準税収入額等**……(基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金－市民税所得割における税源移譲相当額の25%－地方消費税交付金のうち引上げ分の25%) $\times$ 100/75＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金

【R2:4,378,845千円】

**標準財政規模**……その地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模をいう。(標準税収入額等＋普通交付税額＋臨時財政対策債発行可能額)

【R2:8,033,150千円】

